

## 令和3年6月定例教育委員会会議録

令和3年塩尻市教育委員会6月定例教育委員会が、令和3年6月24日、午後1時30分、総合文化センター302多目的室に招集された。

### 会 議 日 程

#### 1 開 会

#### 2 前回会議録の承認

#### 3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について  
報告第2号 7月の行事予定等について  
報告第3号 後援・共催について  
報告第4号 学校運営協議会委員の解任に係る専決処分報告について  
報告第5号 塩尻市成人式の開催について

#### 4 議 事

- 議事第1号 塩尻市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について

#### 5 閉 会

#### ○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委員	小 林 夕 香	委員	石 井 勉
委員	嶋 崎 栄 子		

#### ○ 説明のため出席した者

こども教育部長	青 木 正 典	生涯学習部長	胡 桃 慶 三
こども教育部次長 (教育総務課長)	太 田 文 和	生涯学習部次長 (社会教育スポーツ課長)	田 下 高 秋
こども課長	竹 中 康 成	平出博物館長	小 松 学
家庭支援課長	植 野 敦 司	市民交流センター 長(図書館長)	上 條 史 生
主任学校教育指導 員	黒 澤 増 博	文化財課長	中 村 琴 江

#### ○ 事務局出席者

教育企画係長	佐 藤 智 樹
--------	---------

## 1 開会

**赤羽教育長** 皆さん、こんにちは。今、梅雨空なのですけれども、結構、晴れ間もありまして、太陽を見ますと、夏なのかなということを感じている昨今であります。

プール開きを終えた学校の横を通ったのですが、フェンスの向こうから自分の目当てに向かって、練習に精を出す子どもたちのバタ足の水音が聞こえてきました。自分が小学校の中学年の頃だったのですが、平泳ぎに初めて挑戦して、自分は顔を上げたつもりだったのですが、上げたところに波というか、顔が出ていなかったのか、どばっと水がかかったと思ったら、初めてプールの塩素の水をがぶっと飲んだという、ほろ苦い経験を思い出しました。子どもたちは楽しくプールをやっていました。

ただいまより6月の定例会教育委員会を開会いたします。よろしく申し上げます。

## 2 前回会議録の承認

**赤羽教育長** 次第に従いまして、2番、前回会議録の承認について、事務局から申し上げます。

**佐藤教育企画係長** 前回、5月定例会教育委員会会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくご願ひいたします。

**赤羽教育長** よろしいでしょうか。それでは、そのようにご願ひいたします。

## 3 教育長報告

**赤羽教育長** 3番、教育長報告に入ります。私からは3点報告をいたします。1点目ですが、5月の下旬から6月の月上旬に4校の小学校で運動会が開催されました。6月は中学校では、中体連の中信大会が各会場にて開催され、今週末まで自分の夢に向かって必死になって挑戦している生徒たちであります。

運動会ですが、4校とも晴天に恵まれまして、保護者の皆様に見守られる中、子どもたちは練習の成果を発揮し、全力で駆け抜けている姿、それから最高のパフォーマンスを見せてくれました。応援する保護者の皆様の力もすごいものでした。ある学校の運動会の閉会式では、6年の児童代表の子の感想発表がありました。「保護者の皆様、全部の競技を終えました。今日の応援ありがとうございました。先生方のおかげで運動会を楽しく過ごせることができました。ありがとうございました。私は今日の運動会で、仲間と力を合わせて頑張るにはどうすればいいのかを学びました。今日学んだことを普段の生活で生かしていきたいです。私は、個人の目標と全体の目標は達成できました。皆さんはどうでしたか。考えてみてください」。そんな発表に胸を打たれ、私自身も考えさせられることがありました。その子にとっては小学校最後の運動会を、精いっぱいやり遂げた達成感が私に伝わってまいりました。

それから、5月31日ですが、来年度8月に予定されております令和4年度、第43回北信越中学校総合長野大会に向けて、長野県中学校体育連盟の役員の先生方が施設借用申請のために来庁されました。この4月オープンしたユメックスアリーナ塩尻市総合体育館を会場に、バドミントン大会の競技が行われます。床放射冷暖房施設での大会ですので、バドミントン大会にはうってつけであります。現在第42回の北信越の富山大会がどうなるか、私はまだ聞いていませんが、ぜひ今年も目標に向かって練習を積み重ね、頂点を目指していただきたいと願っております。

2点目です。6月12日でした。洗馬の上小曾部にあります柏茂会館を会場に、げんすけ

の森、柏茂交流会館オープニングセレモニーに招待されて行ってまいりました。山田理事長のお話です。

12年前、わおん自然探検隊を計画し、市内全小学校にチラシを配布しました。市内からの応募はたった1名でした。他市町村からの三、四名からスタートしました。昨年、今年と登録者数が増えまして、56名の子どもたちが自然活動に参加しています。旧柏茂会館のある上小曾部は、自然豊かで素敵な場所です。地元の方々は周りの自然を紹介してくださいました。たくさんのサポーターの皆様にも支えられて、6回参加した子どもリーダーが、今年で100名に達しました。これからもこの施設を修理しながら、活動拠点として活動を続けていきます。やがて参加している子どもたちが大きくなって、またここに戻ってこられるようになればいいなあと願っています。

このセレモニーには、小口市長、丸山県議、上小曾部の区長さんをはじめ、会計さん等の役員、そして私が来賓として招待されました。子どもたちの顔を見ますと、いつものように活動をしたいなということであずあずしておりました。もう子どもたちの顔が、活動に一本だなという姿が、とても微笑ましい姿でした。このオープニングセレモニーを終えた子どもたちは、火おこしだとかナイフ使い、のこぎり使い、ロープ遊び等自分が選択して、3年生以上の他校の児童生徒が交流しながら夢中になって活動をしていました。私はナイフ班に行ったのですが、そのチーフの方から、軍手着用、刃物に自分の指や手を置かない、ここだけは守りましょうという、指示はたったそれだけでした。活動が始まりました。子どもたちも、もう慣れた手つきで、地面に転がっている木材を自由に使って活動をしていました。

私も一緒に森の中に入って、数名の子どもたちと、棒切れをナイフで削って剣づくりを楽しみました。自然の中で安全に楽しく遊べる遊びの達人、ボランティア活動で来た大学生たち、聞けば、神奈川県、静岡県、塩尻の方もいたのですが、大学生たちが負けてしまうほど子どもたちの活動意欲というか、動きは凄まじいものがありました。

子どもたちは、このように学校生活以外でも様々な活動を行って豊かな体験をしています。子どもがみんな持っている頼もしい姿というのを、久しぶりに見ることができました。わおんさんは、このほかにも教育委員会とともに、市内小学生、中学生の代表者を対象にリーダー研修会、それから、こどもしおじりを行っております。未来を担う子どもたちの人材育成に、塩尻市とともに注いでいただいているなということを感じました。

3点目であります。6月2日、令和3年度の塩尻市要保護児童対策地域協議会代表者会議が行われました。児童福祉関係では児童相談所、民生児童委員、社会福祉協議会、保育所、それから保険医療関係では松本保健所、塩筑医師会、歯科医師会、教育関係では小学校、中学校、幼稚園、教育事務所、警察司法関係では警察署、松本人権擁護委員協議会、あと消防関係もありまして松本広域消防局、25名のメンバーで構成されております。当日、家庭支援課から出た資料なのですが、家庭児童相談件数はここ7年くらいで年間1,400件から1,600件くらいでしたが、令和2年度は1,900件くらいと、大きく増加していることがわかりました。

また、令和2年度の家庭児童相談の新規相談対応の経路別件数は、学校がトップになっていました。この資料等、話し合ったあと、スーパーバイザーの信州豊南短期大学元教授の豊永誠さんから、会の終わりにおまとめのお話がありました。幾つかあります。

コロナが広がる中で、子育て時代、ひとり親家庭の生活困窮が土台にあることを想定しな

がら、丁寧に支えていくことが必要です。子どもの心への影響が非常に大きい。コロナ禍の影響で、社会参加、余暇活動、行事等の制約など、思うようにいかないことがある。子どもに対しては、どんな思いでいるのか心を向けていく必要があります。親も子どもも、うまくいかないことが重なってきて、ストレスがたまり、虐待につながっているのではないのでしょうか。また、経済状況、学習、家庭の問題など、複雑化し、今、中高生の自殺が増えている。チャイルドラインへの相談も、2019年から2020年の間に2倍になっている。こういうことを危惧されていました。

子どもの気持ちを誰が受け止めるかが重要だ。近くにいる人がまず声をかけながら、信頼関係をつくって、SOSを受け止めていくことが必要です。

もう1つ、最後です。これだけ抱えている問題が多様化している現代は、1つの機関だけで関わっていくことに難しさがあります。各機関の役割を務めつつ、連携を図っていくことが大事だ。このようなお話をされました。

先ほどお話しした新規相談対応の経路別では、学校がトップになっていたように、保育園、幼稚園、小中学校において、子どもたちと日々接する先生方が、子どもからのサインを見逃さずに、小さな気づきでも、子どもたちを見守ったり、声をかけたり、保護者にも信頼関係を構築しながら、太いパイプで情報共有ができることを心がけていってほしいと改めて私は感じました。そこで解決できない場合もあると思います。そこでこそ、専門機関とすみやかに連携を取りながら対応することを、この会に出席した代表者の方々が確認し合った、そんな大事な会議でありました。私からは以上であります。

それでは各委員から、御意見、御質問、ほかのことについてでも御意見等またありましたら、発言をいただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

**石井委員** それでは、お願ひいたします。最初に、長期化しております感染症対策、その中でも前に進んでいかねばならない。それぞれのお立場で最大限の御尽力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

御報告ありました関係ですけれども、プール開きのお話がありました。私、プール開きに直接触れたわけではないのですが、プールも恐らく制約があります。今までとは違う使い方、学び方になっているのかなと思えます。実は、新体育館の入り口、噴水が出るようになっていて、偶然それを見まして、近所の日の出保育園の園児たちが散歩コースに入れて、楽しそう、楽しそう、水浴びをキャーキャー喜んでしているわけです。ビチョビチョです。でもすごく楽しそう、これは、子どもはもちろんだけれども、大人も含め、御家族で楽しめる施設だろうと思って拝見していました。運営の方にお聞きしたら、「大したPRはしていない。せいぜいホームページに載せているぐらいです」という話で、それからしばらく時間は経過しているので、季節も暑くなってきましたから、楽しむ方、増えているかと思うのです。プールに制約がある中では、特にお子さん方は、積極的に使ったらいいのではないかと思います。単純に楽しむということでもいいかと思えますし、歩いて行けるような、本当に身近な楽しみであるかと思えます。水道代が心配ですというお話もされましたので、その辺は仕組みをうまく整えていただければ、もしかしたら体育館を利用する大きな投資になるのかな、そんなことを感じておりました。

それから、これも終わりました小学校の運動会ですけれども、桔梗小学校の運動会を見る機会をいただきました。やはりこちらも制約があつて、桔梗小学校は大規模校ですので、2

学年ごとに分けて、一日の中で時間を区切った開催でした。各学年の保護者が、各家庭1名見に来てもいいということで、時間割で動いておりました。入替えの時間は、中央スポーツ公園はかなり車が混雑したようですけれども、その日は運動会以外のスポーツ行事もあったようですので、これは致し方なかったかなというところも感じます。

桔梗小学校はライブで動画配信を行ったのです。前日に、学校運営協議会を通じて連絡がありまして、アドレスとパスワードをいただきまして、「10時からYouTubeで見ることができるので、ぜひ楽しんでください」と。これを家で見ていようと、時間早々見始めたのですけれども、定点カメラは3か所置いて、かけっこのスタート地点、中間地点、ゴール。本当にきれいに子どもたちが走っている姿を楽しむことができます。面白い。どきどきしながら見ていました。10分後には私、学校に足を運んでおまして、こういうときなので、動きを避けたほうがいいかなと思いつつ、様子を見に行きました。カメラの使い方ですか、保護者の係の様子なども見ることで、大変参考になりました。

こういった取り組みが、今回は桔梗小学校の場合、PTAの発案・運営といえますか、予算もPTAから捻出したと聞いています。保護者のほうから、こういうことができるのだと、アイデアもそうですし、実際にやるとなったときにも、やっぱり得意な方がいらっしゃるようで、こうすればいいと形にできた、そんなふう聞いております。

各校で工夫されているはずかと思いますが、こういった今までにない取り組みを、ぜひ学校運営協議会なりを通じて共有していただきまして、こういうことができ、次はこういうことにトライしてみたいと。そんな進み方で感染症時代に臨んでいただければいいのかなと感じました。

それから、中学校に関してですけれども、広陵中学校の公開参観日に参加をさせていただきました。やはり地域の皆さんと交流する機会が減ってしまって、どういう関わり方がいいのか、どういうことができるかということで、今年は、公開参観日を2日間実施していただきました。大変残念だったことは、参観に来る参加者が少なく、関心がないわけではなかったと思うのですが、本当に行っていないものかどうかという迷いが感じられた気がいたします。今後、こういった関わり方が望ましいのかは、こういった経過を踏まえて、学校もまた考えていくかと思いますが、直接意見交換をしたり、また子どもたちの様子を見たりという場面は、残念ながら減っていくのではないかと感じました。

ただ、学校側の取り組みとしては、タブレットなども最大限活用して、子どもたちとの今までは角度を変えた関わり方、家庭との連携ということに取り組んでいるという御報告を受けております。それは恐らく、これからのDX社会といわれる動きの中にしっかりと入り込むことができるのではないかと、そんなふう公開参観日を見ながら感じておりました。まだまだ迷いながらのようですけれども、校長先生も力強いお言葉で説明をしてくれましたし、地域としてもサポートしていきたいと感じました。

公開参観日の直接の内容とは関係ないのですけれども、私、学校にお邪魔する機会があるときは大体図書館に寄らせていただくのです。子どもたち、本をどのぐらい読んでいますか。活字に関わる立場なものですから、興味もありまして、可能な限りお聞きするのですが、大体前に比べると読まないですという話になってしまい、ちょっと寂しく感じるのでございますけれども、広陵中は促進の取り組みの1つとして図書館利用の手引きというのを作ったのだそうです。冊子になっておまして、取りつきやすい形で作られています。

その中に、子どもたちが分かりやすいようにということで、漫画でガイドをしているページがあるのです。手間もかかっているし、子どもたち、どの程度これに反応しているのか、どんな感じですかとお聞きしたら、子どもたちの感想は、どこから読んでいいか分からないという反応だったそうです。そんなに難しいものでもないだろうなと思うのですが、実際にはどこから読み始めていいか分からない、どっちへ進んで行くのかも分からないと。漫画ってそんなものだったかなと思いながら聞いていたのですが、実際にはそうらしいです。同じ漫画でも4コマ漫画だと読めるらしいです。何だそれはと思いましたけど、ぱっと見で完結していくものですから、コマ割が次へ次へというふうに、考えなくてもいいというのは言い過ぎですけども、そんな現状をお聞きいたしました。

取りつきやすく漫画にしてみたのだけれども、それにも入り込んで来ない。ちょっと心配になってしましまして、漫画でもいいから読んでほしいなという話も聞くケースはありますが、それさえ今は難しい。いかに便利なものに慣れ過ぎてしまったのか、受け身になってしまっているのだなと心配になりました。これをこうすればいいというのは、これからちょっとずつ考えていくのしょうけれども、ちょっと心配になった話だったものですから、今日ここで御紹介をさせていただきました。以上でございます。

**赤羽教育長** ありがとうございます。続けてお願いいたします。

**碓井教育長職務代理者** 今、石井委員からありましたコロナ禍での学校行事などのインターネット動画配信等に関連して、お願いしたいと思えます。冒頭、教育長からもありましたけれども、先日、私の地元の桔梗小学校で行われた運動会を、私も散歩の途中でしたが、スピーカーから聞こえる音楽や声に誘われて、ほんの少しの時間だけ遠くから見学をさせていただきました。

後で桔梗小の保護者の方と話す機会がありましたので、運動会についてお聞きしてみると、石井委員も言われたとおり、参観は学年種目ごとの時間に家族1人限定という制限があって、ほかはリアルタイムの動画配信によってカバーしていたということでした。その方は、このような状況の中で、学校で様々に配慮していただき、セキュリティーの関係で画像は少し粗かったということでしたけれども、子どもの姿を動画で見ることができてありがたかったと、そういうふうに話しておられました。

また、ちょっと私ごとで恐縮なのですが、孫が東京にいて、保育園に入っております、先日その保育園のZoom参観、30分間の限定でしたけれども、そういう機会がありましたので参加させていただきました。画面の中では、参観日ですのでどうしても孫の姿を探してしまうということが多かったわけですが、保育園側から園児が遊んでいる場の設定の狙いについての説明があったり、この場ではいつもボールを転がしていることが多いというようなナレーションをしてくれたりして、なるほどと納得したり、子どもをよく見ていてくれるなど安心感を持ったりできる場面が幾つもありました。本当は対面で見たり聞いたりするというのが一番いいのだらうと思えますが、ICT機器のよさを生かすと、こういうコロナ禍の場合はもちろんですけども、遠くからでも、時間があまりなくても、子どもの様子を知ることができるものだなということを実感しました。

市内でも今までに、先ほどの運動会のライブ中継もそうですけれども、音楽会とか文化祭、中体連の大会などを配信して下さって評判がよかったと聞いております。ただ、現場は日々忙しくて、動画配信まで行うということとはとても大変だとは思いますが、可能な

範囲でこのような機器を上手に使うと、保育や教育の方針の理解が深まったり、子どもの活動する姿を見て安心するというような状況が増えたり、様々な場でコミュニケーションが広がったりする可能性があるのではないかと思います。

市内では学校等の情報を発信する情報機器の有効活用について、今までホームページやメール等を意欲的に取り組んでいただいているわけでありますがけれども、特にリアルタイム動画等については、コロナ禍のときだけでなく、今後どのような意図を持ってどう使っていくのか、研究していく余地というのは大いにあるのではないかなと思います。当然デメリットもあるかと思いますので、そんな点も踏まえながら、進めていただければと思っております。以上です。

**赤羽教育長** ありがとうございます。では、続けてありますか。

**小林委員** 2点あるのですけれども、1点は6月16日に人権擁護委員として人権教育推進会議というのに出させていただいて、講師の方から広丘小学校のことが紹介されていたので紹介したいと思っています。

広丘小学校では、シトラスリボンを奨善会が中心になって作り、4年生がストラップをつけて、全校に配ってつけているということを以前教育長からも報告がありました。その後ということでお聞きして、その活動が市民タイムスで紹介されたところまでは、きっと皆さん御存じだと思うのです。その後を紹介します。

その市民タイムスを読んだ方が広丘小学校を訪れました。どういう方かという、実際にコロナに感染されて、一緒に感染した御家族を亡くした方だそうです。学校で、1時間ほどお話をされたことによると、県外に出たわけでもなく、夜の街や大人数の会食を楽しんだわけでもなく、感染経路は不明、それなのに東京に行っていたとかツアーに参加していたなど、地区にしばらく引越すらしいなど、根も葉もない噂話が耳に入って、とても傷ついたということをお話されたそうです。

ただでさえ苦しい病気を経験し、最愛の家族を失った悲しみに加え、そのような無責任で興味本位の言葉を聞いて、外に出るのも人と会うのも怖くなった。そんなとき市民タイムスの記事を読んで、まるで自分のために小学生が取り組んでいるのではないかと感じ、とても勇気づけられ、うれしかったと何度も涙ぐまれていました。

このように教頭先生から紹介があったそうです。教頭先生に先日お会いしたときに、このお話をお聞きして、そのときの教頭先生のお言葉にとっても感銘を受けました。真の価値が試されるのは、校内で感染者が出るなど自分事になったとき、どんな言葉、態度、気持ちになるかではないかという、教頭先生の言葉がありました。という報告がありましたので、紹介させていただきました。

私ごとなのですが、ちょうどこのお話を教頭先生からお聞きしたその前後に、友人のお子さんが感染されたということで、療養されたのですけれども、やはり感染ルートが分からない状態だったのです。お父さんお母さんが濃厚接触者ということです。具合はどうか、などという話を聞いて、それから5日ぐらい後に電話で話をしたら、何ともないよ、ちゃんと食料もあるし、と話をしたのですけれども。

その彼女から、30年来の友達なのですけれども、家で医療系の仕事をされているので、これが1年前だったら、私、多分ここにもういなかったかもしれないし、いられなかったかもしれないし、窓ガラスを割られていたかもしれないということを電話で言われて、言葉を失

ってしまいました。そんなことないよと否定もしてあげられませんでした。市民タイムスを読んで、学校を訪れた御家族の切なさがすごく身に染みたというか、当事者でないとなんか分からないこと、そういうことがあるのだなと思って。ちょっとすみません、私事ですが、そんなことがありました。

人権教育推進会議からも、このコロナの感染ということで、3つの感染という言葉を使っていました。そのコロナ自体のウイルスの感染と、不安という感染と、差別という感染があると。その3つの感染が悪い方に転がって、みんなの不安をあおったり、そういう偏見につながっていると。そういうことがあるので、広丘小学校でも、正しく怖がっていこうということをモットーにしているようです。それをちょっとお伝えしたいと思いました。

**小林委員** それともう1点です。先ほどの赤羽教育長の話にもあった貧困の件に絡めてですが、私はどちらかというとデジタルが弱いので、塩尻の広報を結構読ませていただいていたので、その中に、今回生理用品の購入に困っていませんかというチラシが載っていて、ああ、よかったと思ったのです。たしか市民タイムスのほうにも40件くらいの問い合わせがあって、1件の相談につながったという記事を読んだのですが、それが多かったのか少なかったのか、ちょっとよく分かりませんが、でも、よかったなと思ったのです。

それと、まだ続きがあるのですけれど、はっと思ったのが、先ほど先生からも話があった、子どもの気持ちに目を向けるということです。最近、テレビのACのコマーシャルか何かで、子どもをみんなで見ていこうというような、かわいらしい共感できるようなコマーシャルがあって、こういうものを見て、困っている子が相談できるといいなと思いました。

けれども、貧困とか困っている子どもは、こういうテレビを見るのだろうかと思ったのです。そうしたら、こういう広報がそのお家に届いているのだろうかと疑問に思いました。アパートに住んでいる人で区費を払っていないと、広報は届かないのですよね。以前も、アパート代が払えなくてというお話をされた方もいて、当然アパートに住んでいるのですが、市のほうで補助制度があるとか、そういう情報が入るのも、すごく遅かったようなのですよね。そういう貧困の家とか、家庭支援課とつながっている家には、きつこういふ情報が直接行ったりすると思うのですが、そのちょうど中間というか、つながってもいなくて、でも困っているような人でアパート住まいの方に、こういう情報は行くのかなと、ふと思ってしまいました。その点、子どもたちにこういう広報を配ったりとか、そういう工夫などはあるのですか。

**赤羽教育長** では、わかる範囲で。

**植野家庭支援課長** 情報の伝達というところですが、確かに我々が把握している御家庭、今回ですとひとり親の皆様、4月に子ども1人当たり5万円の給付をしました。そのときには、その中に生活面での補助のメニューのチラシも同封いたしまして、これ以外の支援もこういった支援もありますという形でお伝えをさせていただきました。

この後また、ひとり親世帯以外の方に、同じ形で給付をいたしますので、そういったところでも周知していきます。それと高校へも周知をしていこうと思っています。それで全部がカバーできるのかというところはあるのですが、ひとり親に関してはメールという配信の方法も多く使っていますし、学校関係にも周知はしていますので、そこからつなげていくことを現時点では想定しております。答えになったかどうか。

**赤羽教育長** ありがとうございます。

**小林委員** ありがとうございます。そういう生理用品に限らず、先ほどの教育長からのお話でもあった、いろいろな子どもたちの活動の場とか、遊びの場とか、図書館の催し物とか、そういうものもこの広報の中に入っているのです、お金がかからなくて自分の家の近くで行けそうなものであれば、子どもが自分で手に入れられるような、そういうルートもあったらいいなと思いました。

**赤羽教育長** ありがとうございます。

**嶋崎委員** 6月の頭に市民タイムスで読んだのですけれども、平出博物館のホームページがリニューアルしたというふうに載っていたものがありまして、ちょっと私はまだ見られていないのですが、すごく興味深い記事で、見たいなと思っていたところだったのですけれども、何か反響などがあったかどうかお聞きしたいです。

**小松平出博物館長** 御意見ありがとうございます。平出博物館のホームページというものは、今までは市のホームページの中の非常に深い場所にあったものですから、なかなかたどり着かないということで、なるべく平出博物館をアピールしたいということで、昨年度新しくホームページを立ち上げました。

まだ内容の充実はこれから一層進めていきたいと思いますが、その中に、例えば今までは見られなかった3D映像で七十数点の遺物等を取り込みまして、普通だったら表しか見られないところを、裏とか中まで見られるような、そういった工夫をいたしました。そのホームページに入ると、館内入り口から入って、各全部の展示室を1階も2階も見られるとか、そういった形で、来られない方にも見られるような形というものを、今現在取っております。

ただし、このホームページを御覧いただくのに、普通Internet Explorer（インターネットエクスプローラー）で入りますが、それではなくて、今、Chrome（クローム）とかMicrosoft Edge（マイクロソフトエッジ）で入っていただかないうまく機能が働かないという、そういった不便さもありますので、その辺は今後更新していきたいかと思っております。特に3D映像などは、見た方から、普通、表しか見られないものを、中とか裏からも見られて興味深かったという話がありますので、今後より一層充実させていきたいと思っております。

**赤羽教育長** ぜひ見ていただいて。裏から見るなんて、今平出博物館長言いましたけれど、普通はただ置いてあるだけです、私も1回見させてもらいましたけれど、本当に驚きでした。ありがとうございます。

そのほかはございますか。今出た話の中でつなげていただいて、あれば。

**碓井教育長職務代理者** コロナ禍にも関連していると思っておりますけれども、2点お願いしたいと思っております。1点目は、新型コロナウイルスの12歳以上の児童生徒への接種についてです。このことについて、文科省が基本とする方針をまとめて通知したという報道がありました。その準備は進んでいるかと思っておりますけれども、希望者にできるだけ早く接種できる体制づくりを私は願っております。

2点目は、学校安全についてです。大阪の池田小学校の事件から20年という報道がありました。20年前は私も現職の教員として小学校に勤務しておりましたので、とても大きなショックを受けました。学校の安全対策は、地域の方々の見守りとか防犯カメラの設置等があって、強化されてきているかと思っておりますけれども、最近のコロナ禍の影響で、安全教育や防

犯訓練等がうまく機能しているかどうか。工夫して取り組んでいただいているとは思いますが、少し心配な点があります。また、御家庭においても、これもやっていただいているとは思いますが、子どもと一緒に通学路を歩いて、危険場所の確認をしたり、助けを求める具体的な動き方を訓練したりするなど、一層親子が自力で身を守る心構えなどを高めていただけると、さらにいいかなと思います。以上です。

**赤羽教育長** ありがとうございます。今の碓井教育長職務代理者のことで話ができれば。

**太田子ども教育部次長（教育総務課長）** 安全教育や防犯訓練等については、学校も感染対策取りながら、実施しておりますし、通学路についても点検は毎年行う中で、今年も実施する予定であります。継続できるものは引き続き継続していきたいと思っております。ただ、池田小のような大きな事件というのは、本当に想定外のことだと思います。こればかりは防ぎようがない部分もありますけれども、この辺は市内コミュニティ・スクールの活動の中で、地域の皆さんの見守りの力をお借りしながら、できうる限りの取り組みを進めていきたいと思っております。以上です。

**赤羽教育長** ある小学校では、今年も警備会社を呼んで、実際にどう避難したらいいとか、体験型を現在も続けているそうです。そういう学校があるのを見て、今、碓井教育長職務代理者と同じように、安心してはいけないというか、これはつなげていかななくてはならないという大事なものだと思っておりますので、また機会がありましたら学校へ伝えていきたいと思っております。ありがとうございます。

そのほか、よろしいでしょうか。とても大事な話を報告していただきまして、とてもありがたかったので、またつなげていきたいと思っております。ありがとうございます。

では、次に入りたいと思っております。

### ○報告第1号 主な行事等報告について

**赤羽教育長** 報告第1号、主な行事等報告についてお願いします。資料1ページから2ページです。事務局から主要な行事について、説明をお願いします。

**田下生涯学習部次長（社会教育スポーツ課長）** それでは、1ページをお願いいたします。生涯学習部行事報告となります。1ページ中段、5月29日土曜日に、第24回塩尻市公民館研究集会「学びやつながりを止めない公民館活動」として、総合文化センター講堂で開催をいたしました。この直前に、総合文化センターからコロナウイルス感染者が出たということもございまして、規模を縮小しました。基本、市内65分館ある公民館の分館長、分館主事に御参加をお願いするところでもございましたが、参加をしなくていいという形を取りまして、動画を撮影し、本日から動画を配信する予定としております。事例発表といたしましては、記載のとおり原新田公民館の活動、パネルディスカッションとしまして、公民館活動について立場の違う関係者から思いを語っていただいたものでございます。この動画を配信することによりまして、各公民館の役員の皆様の今後の活動の糧にすることができるものと確信しております。私からは以上となります。

**赤羽教育長** ありがとうございます。続けてお願いします。

**上條市民交流センター長（図書館長）** そのほかの行事、全て図書館でございます。塩尻市立図書館開館50周年という記念の年と、本の寺子屋10年目ということで、様々なイベントを精力的に展開しているところでございます。ここにはありませんが、現在、本館で開館50

周年の記念の展示、あるいは写真集の写真の展示などを行っていますので、また機会がありましたら御来館いただければと思います。

ここにある行事の紹介につきましては、2つ申し上げます。2ページの上段、12日土曜日、はじめてのSDGs講座を行いました。「はじめての」というのは、中高生を対象にしたSDGsの講座を開催したいということで企画をいたしました。成果のところにありますように、残念ながら10代の参加者は1人でしたが、学校司書ですとか教職員の皆さんに加え、一般の市民の方の参加をいただきまして、16人の参加でございました。まだまだ中高生に対して発信したときに、これに興味を持ってくれるお子さんが少ないのかなと感じましたけれども、公共図書館では比較的早い取り組みとして、SDGs講座の開催ができました。

13日の日曜日、「信州しおじり子ども本の寺子屋 目指せ！図書館マスター」の開校式と第1回の講座を開催いたしました。15人の定員で募集しましたところ、20人の応募がございまして、中には昨年度、図書館マスターとして認定され、さらに学びを続けたいという6人の2年目の参加もございました。オリエンテーションで、今年度の今後の予定を説明し、第1回の講座では、図書館の本がどのように並んでいるかという分類の法則から、本をどのように分類するかというワークショップも行いまして、子どもたちがとても積極的に関わってくれる様子が、昨年を引き続きまして見受けられまして、とてもうれしかったところでございます。今後、第7回まで秋にかけて行いまして、全て受講した上で、図書館マスターに認定する予定であります。

**赤羽教育長** 今報告がありましたが、委員の皆様から質問や御意見がありましたらお願いいたします。

**碓井教育長職務代理者** 2ページの6月12日の「はじめてのSDGs講座」についてです。学校教育に携わる参加者も多くあったということで、先ほど司書の方もおいでになったというお話がありましたけれども、教諭の方はどのくらいお見えになったのでしょうか。

また、当日の内容については、ペーパーレスとか食品ロスとか温暖化対策とか、いろいろあると思うのですが、どんな内容だったのでしょうか。というのは、北安曇郡の白馬中で、SDGsサークルを発足させて学習に取り組んでいるという新聞記事を読みました。学校現場でも、今後の大事なテーマとして課題解決的に、また、教科横断的に子どもたちが学んでいける内容になるだろうと思いましたので、もう少し詳しくお聞きできればと思います。

**上條市民交流センター長（図書館長）** 参加者の内訳でございますけれども、学校司書に加えまして、学校の教職員も数人参加していただいたということで、全体で16人ということでございます。それほど大きな人数ではございませんでしたけれども、講座で得たことを各職場に持ち帰っていただいて、学校図書館も関連する本を中心に情報提供する役割を果たすということを、学校司書の皆さんには、具体的に進めていただければと思っております。

具体的な内容ですけれども、はじめてのSDGsということでございますので、持続可能な開発目標に掲げられている内容と、そもそもSDGsの目的とは何かということから入りまして、全体の概要をお話しいただきグループに分かれてのワークショップで対話しながら考えを深めるというのが第1部の内容でした。第2部では、SDGsに関連した絵本の紹介とありますけれども、絵本と児童書を中心にSDGsを扱っているものを紹介しました。子どもの頃から興味を持ってもらうということと、絵本と児童書ですので、子どもだけでは

なくて中高生から大人も、理解を進めるのには分かりやすく示されているという資料ですので、そんなものを紹介していただきました。

既に、本館の児童コーナーではSDGsのコーナーを設けまして、関連する書籍、絵本などをテーマブックスとして展示しておりますので、利用者に興味を持っていただきながら、この取り組みを知った上で実践するというのが肝要だと思いますので、そんなところにつなげていければと考えております。

**赤羽教育長** よろしいですか。

**碓井教育長職務代理人** SDGsについては、今後、学校でも大事なテーマとして、総合的な学習の時間等で子どもたちが学んでいける内容になるだろうと思いますので、今もお話がありましたけれども、このような取り組みを積極的に進めていただければと思います。以上です。

**赤羽教育長** ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。

私も、6月13日の「目指せ！図書館マスター」に行かせていただいて、子どもたちの姿を見たのですが、上條図書館がおっしゃるように、自分でこれをやりたいという子どもたちが集まってくる、その子たちの目つきや行動は、自分の目標があれば、本当に子どもたちは自分から考えながら動いていくのだなということ、改めて感じさせていただきました。ぜひ、また続けていっていただきたいなと思いました。ありがとうございます。

## ○報告第2号 7月の行事予定について

**赤羽教育長** それでは、報告第2号です。7月の行事予定についてお願いします。資料3ページをお開きください。

全員に関わるものは、29日に定例教育委員会・協議会がありますので、皆様の御出席をお願いします。それから、塩尻短歌大学、ちびてつ、本の寺子屋10周年記念開校式などの行事もありますので、委員の皆様も御都合がつかましたら、御覧いただきたいと思います。

では、内容で何かありましたら、今見ていただきましてお願いします。よろしいでしょうか。

**石井委員** 15日木曜日、第1回教育支援委員会という委員会がございますが、これは今までにもあったものですか。

**植野家庭支援課長** こちら毎年8回の開催ということで、小林委員は人権擁護委員のお立場で御出席いただいております。就学に関することにつきまして検討をしている委員会でございます。

**石井委員** では、8回やるうちの1回ということですか。

**植野家庭支援課長** そうです。

**石井委員** 分かりました。ありがとうございます。

**赤羽教育長** では、ほかはよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、次に進みたいと思います。

## ○報告第3号 後援・共催について

**赤羽教育長** 報告第3号、後援・共催についてですが、資料4ページと5ページであります。見ていただきまして、御質問、御意見がありましたらお願いしたいと思います。何かありま

したらお願いいたします。よろしいですか。

**石井委員** 楽しそうな行事があるものですから。4ページ、受付番号9番、塩尻青年会議所8月委員会事業、「塩尻キッズチャレンジ～夏休みにおうちでつくろう～」というのは、長期間の開催になっていますが、これは何をやるわけですか。

**太田子ども教育部次長（教育総務課長）** 詳細は私も把握していないところがあって申し訳ないのですが、青年会議所で、子どもたちが夏休みの間、自宅で料理を作ってみたり、工作してみたり、様々なそういった作品を、写真で投稿になるかと思えます。それについて青年会議所で審査して、優秀者にはプレゼントをしようというような取り組みでございます。例年ですと、子どもたちのバスツアーのような形で取り組みを進めてもらったのですが、昨年度からのコロナ禍において、こういった取り組みに変えて行っていくという話で聞いております。以上です。

**赤羽教育長** 最終的には審査して、子どもたちのいい作品を評価するという話を。これもコロナ禍ゆえのインターネットを使った活動だということになります。

ほかはよろしいでしょうか。ありがとうございました。

#### ○報告第4号 学校運営協議会委員の解任に係る専決処分報告について

**赤羽教育長** では、報告第4号に入りたいと思います。報告第4号、学校運営協議会委員の解任に係る専決処分報告についてですが、資料6ページをお願いいたします。事務局から説明をお願いします。

**太田子ども教育部次長（教育総務課長）** それでは、報告第4号、学校運営協議会委員の解任に係る専決処分報告について御説明いたします。学校運営協議会委員辞任申出書が学校より提出され、委員の解任について、教育長専決により決定しましたので報告するものでございます。

教育長専決日は令和3年6月3日。委員の解任日は令和3年3月31日。解任委員数3人で、学校運営協議会委員数は、全体では288人となります。また、解任委員については、下段の表のとおりとなりますので、併せて御確認ください。私からは以上です。

**赤羽教育長** ありがとうございました。それでは、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。ないようですので、報告のとおり御承知おきください。

#### ○報告第5号 塩尻市成人式の開催について

**赤羽教育長** 続いて、報告第5号であります。7ページ、塩尻市成人式の開催について、事務局から説明をお願いします。

**田下生涯学習部次長（社会教育スポーツ課長）** 資料7ページ、塩尻市成人式の開催についてお願いいたします。

報告理由でございますが、再延期しておりました令和3年塩尻市成人式の開催日が決定いたしましたので、御報告をさせていただくものです。

2番、内容といたしまして、前回5月に再延期されたときと同様、コロナ対策のため2部制で開催を予定しております。例年実施しております記念行事につきましては、実施をいたしません。開催日といたしまして、11月27日土曜日、場所はレザンホール。各地区を、地

区分けを行いまして、1部と2部で密にならないような体制で実施をさせていただきます。

3番、今後の対応でございますが、今月中にプレスリリースによりまして公表をいたします。加えまして、10月頃に個別に該当者へ通知を送付させていただきます。また、再度コロナの状況が悪化しているようなことがございましたら、令和3年成人式につきましては中止といたします。(3)番、令和4年の成人式につきましては、令和4年1月9日、日曜日に開催する予定としております。(4)番、令和5年、民法改正によりまして成年年齢が引き下げとなる影響を受ける年でございますが、本市におきましては、18歳等に引き下げをせず、現行どおり20歳での成人式を開催をすることとさせていただきます。報告につきましては以上となります。

**赤羽教育長** ありがとうございます。委員の皆様から御質問や御意見がございましたらお願いいたします。

**石井委員** 11月27日にした理由は何でしょうか。

**田下生涯学習部次長(社会教育スポーツ課長)** 5月に再度延期をするときに、秋頃ということで、微妙な言い回しで延期を決定させていただきました。レザンホールの行事日程等と調整する中で、11月27日は、もともと短歌フォーラム学生の部を予定しておりましたが、短歌フォーラムの本大会、学生の部の大会をコロナの影響により中止することといたしまして、11月27日は市で押さえてあった日程があったものですから、暑すぎず寒くなりすぎず、このぐらいで何とかできればというところで、決定をさせていただいたものでございます。

**石井委員** 御回答ありがとうございます。事情は皆さん承知しているでしょうし、延期やむなし、これ以上改善がないと中止ということになってくるわけですけれども、たびたびこの案件についてはお伝えしましたが、スケール感から言っても効果に期待する声は大きいわけですね。飲食をはじめ、経済効果が優先されるかということ、またそうでもないと思うのですけれども、お祝いという雰囲気大切にしたい、この思いは街の皆さんの共通の気持ちだと思います。やってよかったと言える新成人の門出を期待しておりますし、また運営側はこちらで進めるわけですけれども、特に商工関係、期待値の大きいところとは連携を取って、コロナ禍だからできることを増やしていただければ大変いいかなと感じております。よろしくお願いたします。

**赤羽教育長** そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、報告のとおりお願いしたいと思います。次にまいりたいと思います。

#### 4 議事

##### ○議事第1号 塩尻市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について

**赤羽教育長** 議事第1号、塩尻市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱についてですが、資料8ページをお願いいたします。事務局から説明をお願いします。

**中村文化財課長** では、議事第1号、8ページをお願いいたします。塩尻市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱についてです。

こちらのほう御説明する前に、文化財保存活用地域計画について御説明をさせていただきたいと思います。8ページの一番下になりますけれども、文化財保存活用地域計画、こちらは文化財保護法に位置づけられました市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画、文化庁の認定を受ける法定計画になります。文化財の保護行政の中長期的な基

本方針を定めるマスタープラン、短期的に実施します具体的な事業を記載するアクションプラン、こちらの両方を担う計画となります。

塩尻市では令和3年、4年に策定しまして、令和5年7月の認定を目指しております。行政側のメリットとしましては、市の文化財全体の保存活用の将来像ですとか、取り組みの方針が具体的に可視化されることで計画的な行政運営ができるようになります。また、法定計画でありますので、国の補助率の加算、国庫補助事業における優遇が受けられるということになっております。こちらを定めるための協議会の設定になります。

お戻りいただいて1の趣旨、塩尻市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱第3条に基づきまして、塩尻市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱をするものです。

2、任期ですけれども、令和3年7月1日から令和5年3月31日まで。

委員の候補でございますけれども、学識経験者、文化財所有者、商工会、観光関係、行政関係、合わせまして8名の方を任命する候補とさせていただきます。

4番、協議会の職務については、文化財保護法に規定されているものになります。以上です。

**赤羽教育長** ありがとうございます。それでは、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

**石井委員** 委員の候補者が8名いらっしゃいますが、世代的には、年齢はどの辺りの皆さんになりますか。

**中村文化財課長** 学識経験者の皆様は80代、60代お二人。文化財所有者につきましては60代。商工会、観光関係は現役の職員になりますので50代。行政につきましては、長野県教育委員会の方は主任指導主事の方になりますので、年代は不明ですけれども恐らく40代の先生かと思われま。あとは胡桃部長になります。割と年齢が50代以上の皆様にはなります。

**赤羽教育長** ありがとうございます。

**石井委員** 分かりやすい御回答いただきまして、ありがとうございます。世代が高くていいとか悪いとかではなくて、やはりこの案件を語るにふさわしい皆さんというのが、必要な話かと思うのですが。今、文化財保護という話は、恐らく塩尻市だけではなくて、全国的に取り組みが広がっているのではないかと感じるのですね。時代が経過してくると古いものをどうするかというのは、必ず議論になるところかと思うのですが。

可能であれば、次世代もぜひこういった中に加えていただいて、これから先の世代は、文化財についてどういう感覚なのか、あるいは、どういう感覚を育てていきたいのか、そういったものも委員会活動の中で創り上げていただければ、うれしいと思います。いきなり文化財をどうこうと言われても、多分実感に乏しい次世代の方には無理もないと思うのですけれども。早い段階から、自分たちの街にある財産や残していきたいものについて、具体的な意見を持てる、そんな仕組みを取り入れていただければいいのかなと感じました。

**赤羽教育長** ありがとうございます。そのほか、よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございます。

採決したいと思います。議事第1号につきましては、原案どおり決することよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

**赤羽教育長** 異議なしと認め、原案のとおり決することといたします。

それでは、本日予定されていましたが案件については以上ですけれども、そのほか委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。

**小林委員** 先ほどの発言に加えてです。コロナの感染を理由に、学校を長期に休むということが、起きていると思うのですけれど。そういう生徒に対して、iPadの活用ができていて、特別にお子さんに配信ができたということが、今回ある中学ではできたようです。そういうノウハウをやはり早期にできて良かったと思います。療養中はすごく孤独だそうです。症状が軽度で全く勉強するのに支障がないという状況では、できることがあったほうがいいと思うので、積極的に学校から配信をするとか、先生方とつながれるとか、そういうのを大いに活用できたらと思います。本当にいいタイミングで準備ができていて、よかったということをお聞きしてきたので、ぜひこれからも早い段階から活用していけるように、該当の中学ではないところにも発信してほしいと思いました。

**赤羽教育長** ありがとうございます。それについてはよろしいですね。陽性ではないのですけれど、濃厚接触者の疑いがあるというお子さんもいますね。そういう場合も、iPadを持っていってもらって、朝の会や帰りの会でつながるような形で取り組みも始まっておりますので、それが広がっていけばいいかなと思っております。大事なことをありがとうございます。ほかは、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

## 6 閉会

**赤羽教育長** それでは閉会になるのですが、今月末をもって御退任されます嶋崎栄子委員より、ここで御挨拶をいただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

**嶋崎委員** 貴重なお時間ありがとうございます。一言だけ感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。

4年前初めてこの会議に出席させていただいたときは、本当にただ緊張で、座っているだけが精いっぱいでした。そういう状態が2年ほど続いた感じがしますが、少しずつ関わりが増えてくると、教育委員会の皆さんが、子どもたちのために、こんなにいろいろな思いをして対応してくださっているのだということを感じまして、すごく胸が熱くなったことを思い出します。

前半の2年間は、学校訪問や入学式、卒業式、県外の研修などもいろいろ行かせていただきまして、本当に貴重な体験をさせていただきました。任期中には、体育館も更地のところから完成までを見ることができましたし、エアコン設置の際も、塩尻市の対応の早さに、子どもたちとともに喜んだことを覚えています。今の子どもたちは、すごく感謝する気持ちが持てて、様々な環境を柔軟に受け入れられる子どもたちだと思います。形は違っても、笑顔で学校生活が送れるように、教育委員会の皆様には子どもたちの味方になっていただいて、支えていただけたらと、心から願っております。

4年間貴重な体験をさせていただき、本当に感謝しております。いろいろお世話になりました。ありがとうございます。

**赤羽教育長** ありがとうございます。それでは、私から教育委員会を代表しまして、一言御礼の挨拶を申し述べさせていただきます。

嶋崎委員は、塩尻市教育委員として1期4年間、長きにわたりまして、大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

嶋崎委員は、塩尻東小学校のPTA役員と同時に、併せてこの大役を引き受けてくださったとお聞きしました。嶋崎委員は、教育委員の保護者枠としてお務めいただき、小学生や中学生のお子さんたちの現役の母親でもあります。ちょうど1年前の6月定例教育委員会、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休業、分散登校へ。6月から子どもたちは登校を始めました。嶋崎委員からは、「子どもの様子を報告します。全校に配備されたエアコンを、とても快適だと言っています。中学生の息子は運動着で登校しています。すぐに洗えるということで、制服での登校より快適であるようです。いつまで運動着登校でしょうか。お聞きしたいです」と、そんなこともありました。本当に、制服の夏服の心配をしているお母さんの言葉を代弁しての質問だったと思いました。

このように教育委員会としても、早期エアコン設置や三密を避ける学校の対策なども一生懸命やってきているのですが、常に建設的な御意見で、しかも方策の道も感じられるような発言をいただき、本当に私たちは、ありがたかったと思います。今回で教育委員の任期は終わりではありますがけれども、一保護者として、一塩尻市民として、今後も御意見をいただければありがたい。そして、素敵な子育てをさらに進めていただいてほしいと思いました。

結びに、嶋崎委員の今後の御活躍と御健勝を祈念し、教育委員会を代表しまして御礼の挨拶といたします。長い間本当にお疲れさまでございました。

## 6 閉会

**赤羽教育長** それでは、以上をもちまして、6月定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後2時51分に閉会する。

以上

令和3年7月29日

署 名

教 育 長

---

同職務代理者

---

委 員

---

委 員

---

委 員

---

記 録 職 員 教 育 総 務 課  
教 育 企 画 係 長

---